

尼崎市のまちづくりについての市民アンケート等 調査結果（速報値）

令和4年9月

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査の内容	3
3. 主な調査結果	4
(1) 市民アンケート.....	4
(2) 事業者アンケート	10
(3) 市外からの通勤者向けアンケート	16
(4) 大学生向けアンケート	19
参考. 調査票・調査項目	22
(1) 市民アンケート調査 調査票.....	22
(2) 事業者アンケート調査 調査票.....	28
(3) 市外からの通勤者向けアンケート調査項目	34
(4) 大学生向けアンケート調査項目	35

1. 調査の概要

① 目的

これまで推進してきた尼崎市のまちづくりについての認知度や今後取り組むべき施策等について市民・事業者の意見を把握するとともに、市外からの通勤者や大学生など、市外居住者や若い世代が持つ尼崎の印象や今後取り組むべき施策等について意見を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

② 調査概要

1) 市民アンケート

- ・調査対象：18歳以上の尼崎市民 ※ 年齢・地域を考慮した無作為抽出
- ・標本数：2,000票（到達1,986票、不達14票）
- ・調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収及びWEB回答）
- ・回収期間：令和4年7月上旬～9月末 ※ 9月に督促を1回実施
- ・回収数：454票（紙-263票（57.9%）、WEB-191票（42.1%））※ 9月13日（火）時点
- ・回収率：22.7%

【年齢別の回収状況】

	10～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答・不明	全体
回収数	67	57	90	66	60	113	1	454
割合	14.8%	12.6%	19.8%	14.5%	13.2%	24.9%	0.2%	100%

【地域別の回収状況】

	阪急電車沿線地域	JR沿線地域	阪神電鉄沿線地域	無回答・不明	全体
回収数	246	128	79	1	454
割合	54.2%	28.2%	17.4%	0.2%	100%

2) 事業者アンケート

- ・調査対象：尼崎市に立地する事業所（工業・商業）
- ・標本数：1,000票（到達992票、不達8票）
- ・調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収及びWEB回答）
- ・回収期間：令和4年7月上旬～9月末 ※ 8月に関係団体へ協力を依頼
- ・回収数：231票（紙-176票（76.2%）、WEB-55票（23.8%））※ 9月13日（火）時点
- ・回収率：23.1%

3) 市外からの通勤者向けアンケート

・調査対象：尼崎市の事業所に市外から通勤されている従業員の方々

（ 事業者アンケートで「市外からの通勤者アンケートに協力していただけると回答した事業者」
及び関係団体等を通じて協力を依頼した事業者 ）

・調査方法：WEB 回答

・回収期間：令和4年8月下旬～9月末

・回収数：191票 ※9月13日（火）時点

4) 大学生向けアンケート

・調査対象：以下の大学に通学されている学生

（ 関西国際大学（尼崎キャンパス）、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学
部、武庫川女子大学、武庫川女子大学短期大学部、産業技術短期大学 ）

・調査方法：WEB 回答

・回収期間：令和4年8月下旬～10月14日

・回収数：165票 ※9月13日（火）時点

2. 調査の内容

1) 市民アンケート

- 回答者の属性（居住地、年齢、職業、通勤状況、家族の状況等）
- 尼崎のまちづくりについて
 - ・計画や取組の認知度
 - ・地域の現状の満足度と優先して取り組むべき項目
 - ・尼崎市の都市のイメージ、どんな都市になってほしいか
 - ・日常生活の移動手段
 - ・災害リスクの認知度、防災・減災まちづくりの必要なこと
 - ・地域のまちづくりへの関心、参加意向など

2) 事業者アンケート

- 事業所の状況（所在地、業種、従業員数、開業年、用途地域等）
- 尼崎のまちづくりについて
 - ・計画や取組の認知度
 - ・地域の現状の満足度と優先して取り組むべき項目
 - ・尼崎市の都市のイメージ、どんな都市になってほしいか
 - ・災害リスクの認知度、防災・減災まちづくりの必要なこと
 - ・事業所を営むにあたっての問題、今後の事業意向等
 - ・まちづくりへの協力・貢献
 - ・市外からの通勤者向けアンケートへの協力意向

3) 市外からの通勤者向けアンケート

- 回答者の属性（居住地、年齢、職業、家族の状況、通勤手段 等）
- 市外在住者から見た尼崎のまちの課題・魅力
 - ・尼崎市の魅力、まちの課題、まちづくりに関する満足度
 - ・尼崎市での今後の居住意向、尼崎市で居住するために必要なもの

4) 大学生向けアンケート

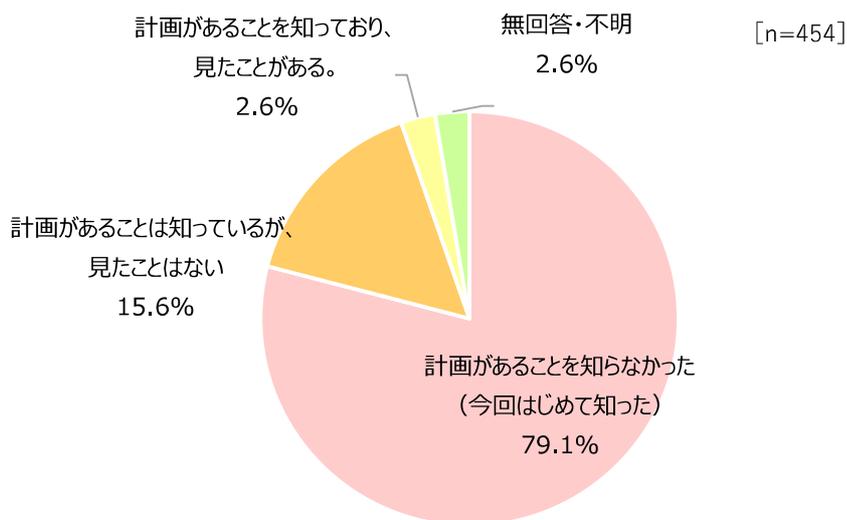
- 回答者の属性（通学先大学、学年、居住地、出身、通学手段 等）
- 若者から見た尼崎のまちの課題・魅力
 - ・尼崎市の魅力、まちの課題、まちづくりに関する満足度
 - ・尼崎市での今後の居住意向、尼崎市で居住するため・住み続けるために必要なもの

3. 主な調査結果

(1) 市民アンケート

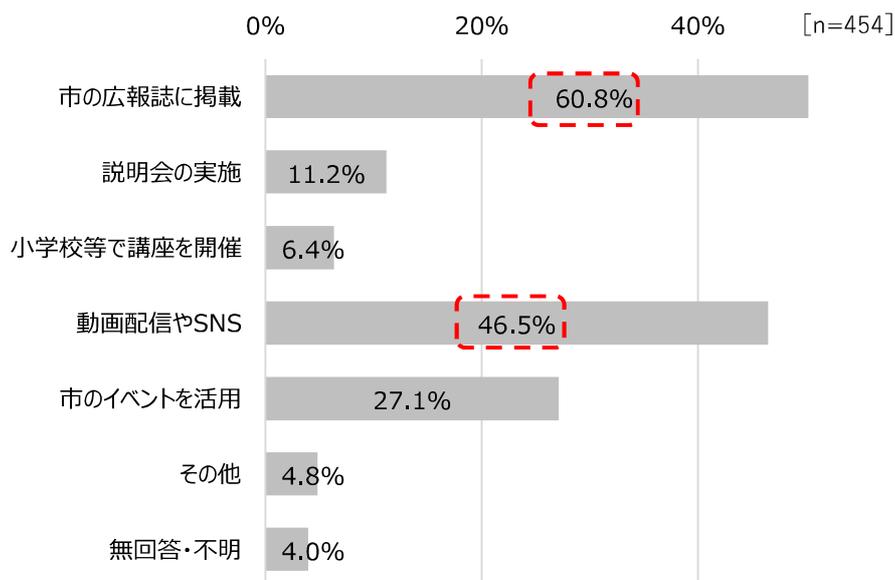
① 現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度 [単一回答]

現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度については、「計画があることを知らなかった（今回はじめて知った）」が 79.1%と大半を占めている。「計画があることを知っているが、見たことはない」を含め約 95%が計画を見たことがなく、計画の内容はほとんど市民に認知されていないものと考えられる。



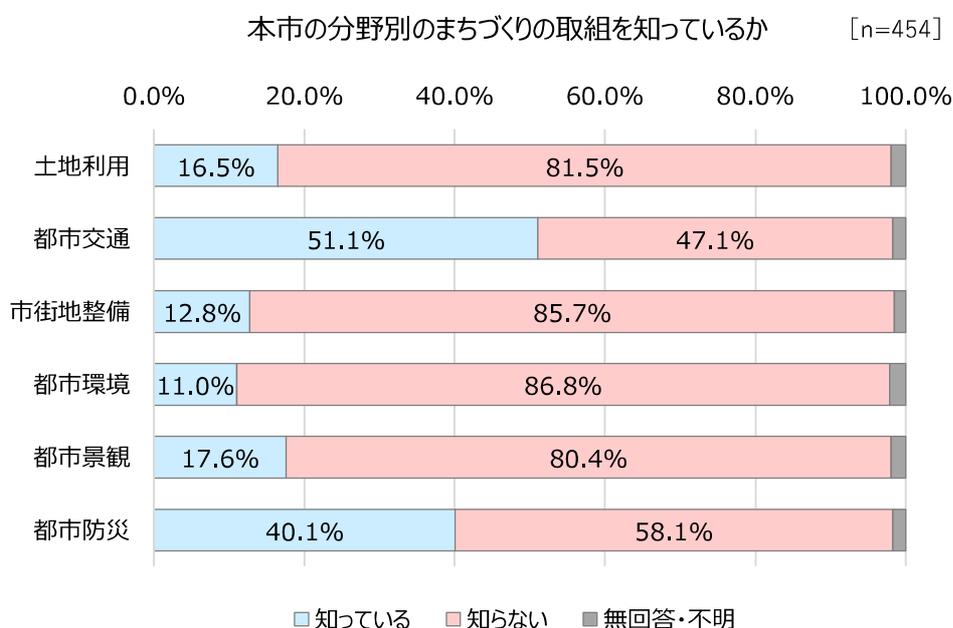
② 都市計画マスタープランの周知に向けて必要な取組 [複数回答]

都市計画マスタープランの周知に向けて必要な取組については、「市の広報誌に掲載」が 60.8%と最も多く、次いで「動画配信や SNS」が 46.5%を占めている。



③ 尼崎市の分野別のまちづくりの取組を知っているか [単一回答]

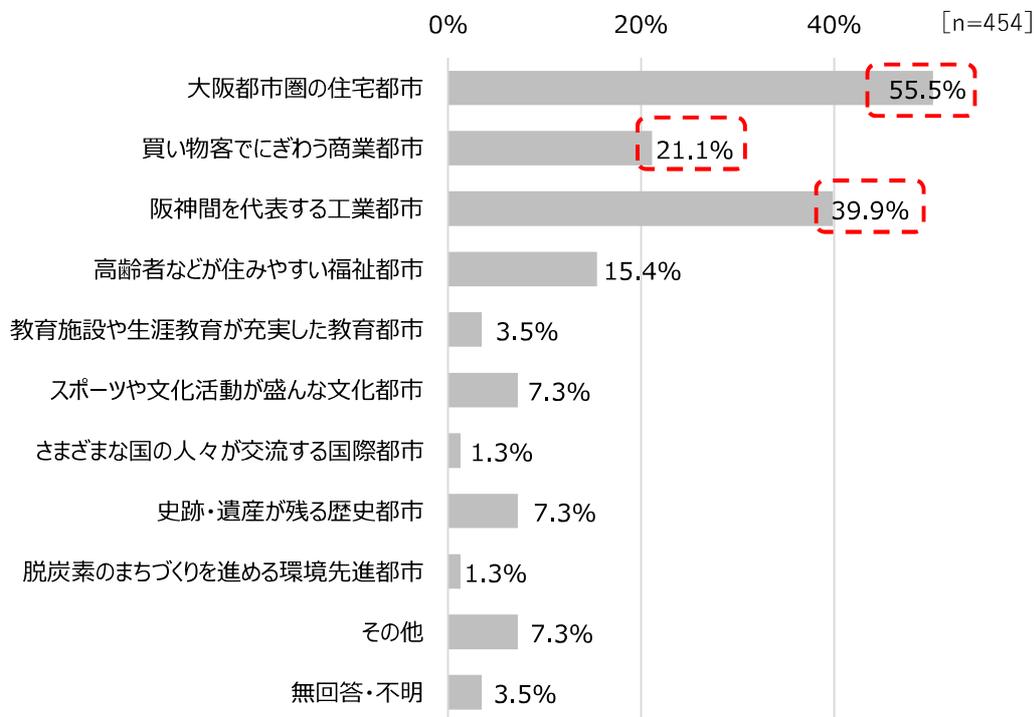
尼崎市の分野別のまちづくりの取組について、知っている割合が高かったのは【都市交通】と【都市防災】の分野で「知っている」がそれぞれ 51.1%、40.1%であった。一方、【土地利用】、【市街地整備】、【都市環境】、【都市景観】の分野については、いずれも「知らない」が8割を超えている。



分野	代表的な取組内容
土地利用	【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していること
都市交通	【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していること
市街地整備	【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていること
都市環境	【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していること
都市景観	【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャームング賞」として表彰していること
都市防災	【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していること

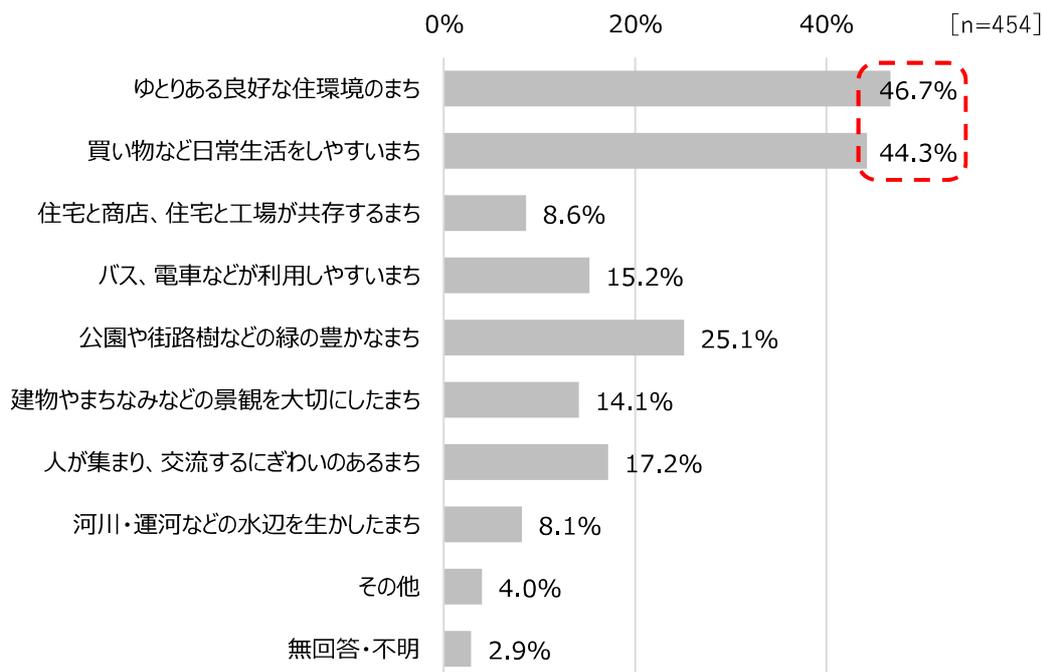
④ 尼崎市の現在のイメージ [複数回答]

尼崎市の現在のイメージについては、「大阪都市圏の住宅都市」が55.5%と最も多く、次いで「阪神間を代表する工業都市」39.9%、「買い物客でにぎわう商業都市」21.1%の順に多くなっている。



⑤ 尼崎市がどのようなまちになってほしいか [複数回答]

尼崎市がどのようなまちになってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」が46.7%、「買い物など日常生活をしやすいまち」44.3%とそれぞれ半数近くが回答している。



⑥ 現状の尼崎の満足度 [単一回答]

現状の尼崎の満足度について評点を見ると、「①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」が1.14ポイント、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」が1.10ポイントであり、住みやすさに関する項目での満足度が高いといえる。

一方、「⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある」が-0.16ポイントであり、ゆとり・うるおいに関する項目の満足度が低い。

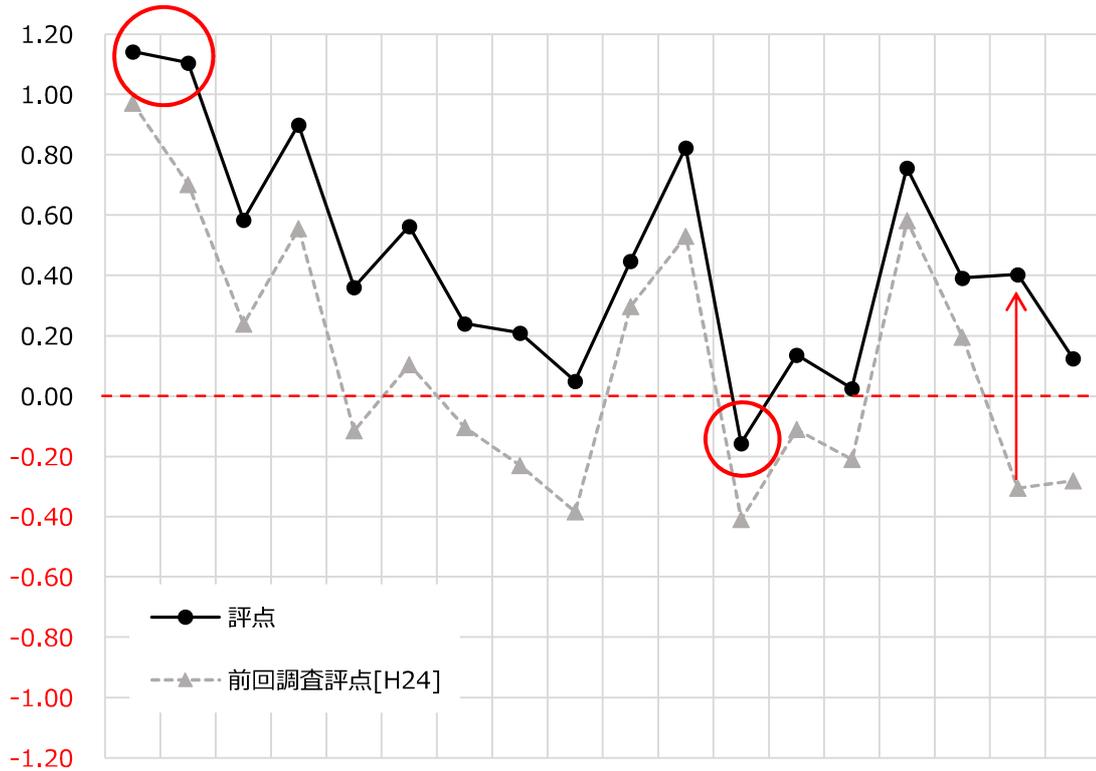
項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答・不明	合計	評点	前回調査評点 [H24]	
	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)				
住みやすさ	① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	200	157	45	31	10	11	454	1.14	0.97
	② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	176	170	79	19	4	6	454	1.10	0.70
	③ 日頃利用する公園の使いやすさ	97	121	186	27	14	9	454	0.58	0.24
	④ 日当たりなど生活環境の良さ	150	159	92	35	11	7	454	0.90	0.56
	⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	78	132	137	73	27	7	454	0.36	-0.12
安全性	⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	82	143	176	39	8	6	454	0.56	0.10
	⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ	53	104	200	64	20	13	454	0.24	-0.10
	⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	53	117	171	78	26	9	454	0.21	-0.23
交通	⑨ 道路が整備され自転車が走りやすい	46	107	141	129	24	7	454	0.05	-0.38
	⑩ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	63	141	176	50	10	14	454	0.45	0.30
	⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	133	171	85	47	11	7	454	0.82	0.53
ゆとり・うるおい	⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある	19	70	207	122	28	8	454	-0.16	0.41
	⑬ 緑豊かで憩いにつづげる場所がある	37	130	164	89	27	7	454	0.14	-0.11
	⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある	40	108	158	105	36	7	454	0.02	-0.21
最寄りの駅について	⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている	113	177	107	35	15	7	454	0.76	0.58
	⑯ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	85	135	115	89	21	9	454	0.39	0.20
	⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	71	159	121	71	25	7	454	0.40	-0.31
	⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	40	118	162	103	20	11	454	0.12	-0.28

[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。

【現在の尼崎市の満足度-評点】

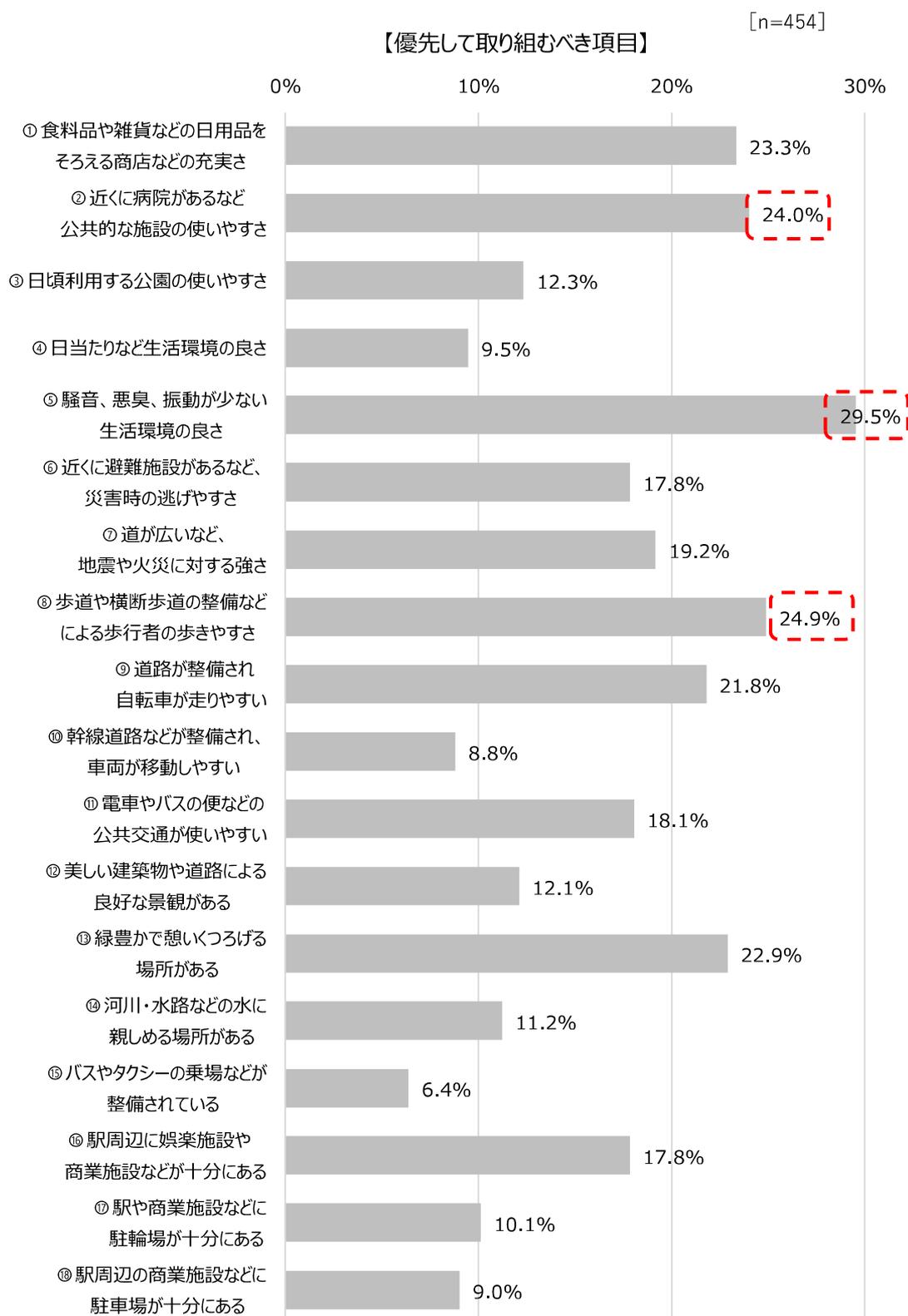
[n=454]



- ① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ
- ② 近くに病院があるなど公的な施設の使いやすさ
- ③ 日頃利用する公園の使いやすさ
- ④ 日当たりなど生活環境の良さ
- ⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ
- ⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ
- ⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ
- ⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ
- ⑨ 道路が整備され自転車が走りやすい
- ⑩ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい
- ⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい
- ⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある
- ⑬ 緑豊かで憩いやすくなる場所がある
- ⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある
- ⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている
- ⑯ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある
- ⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある
- ⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある

⑦ 今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目 [複数回答]

今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目については、「⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」が29.5%と最も多く、次いで「⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ」24.9%、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」24.0%の順に多くなっている。

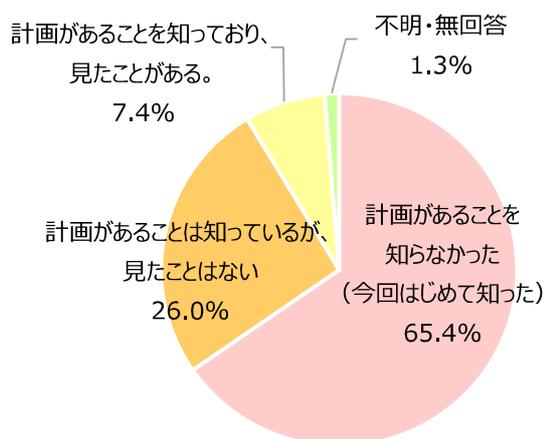


(2) 事業者アンケート

① 現行（平成 26 年）都市計画マスタープランの認知度 [単一回答]

現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度については、「計画があることを知らなかった（今回はじめて知った）」が 65.4%と大半を占めている。「計画があることを知っているが、見たことはない」を含め約 90%が計画を見たことがなく、計画の内容はほとんど事業者には認知されていないものと考えられる。

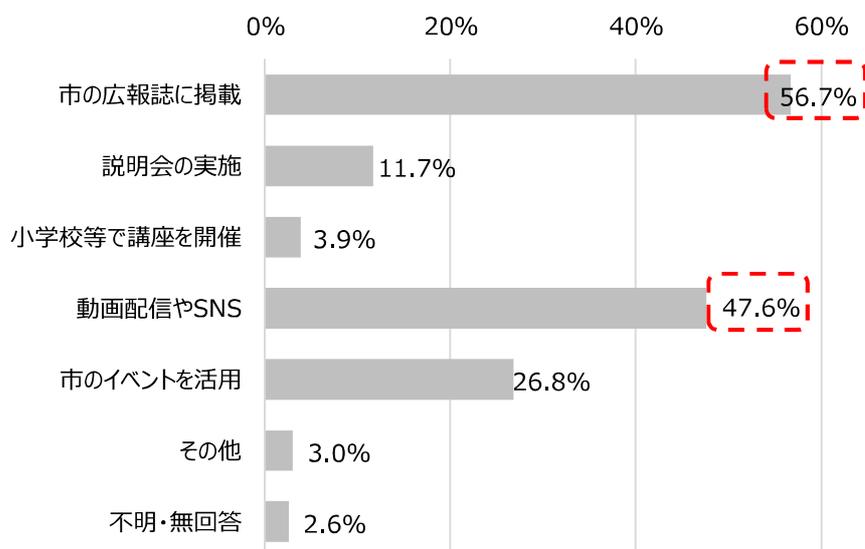
[n=231]



② 都市計画マスタープランの周知に有効な方法 [複数回答]

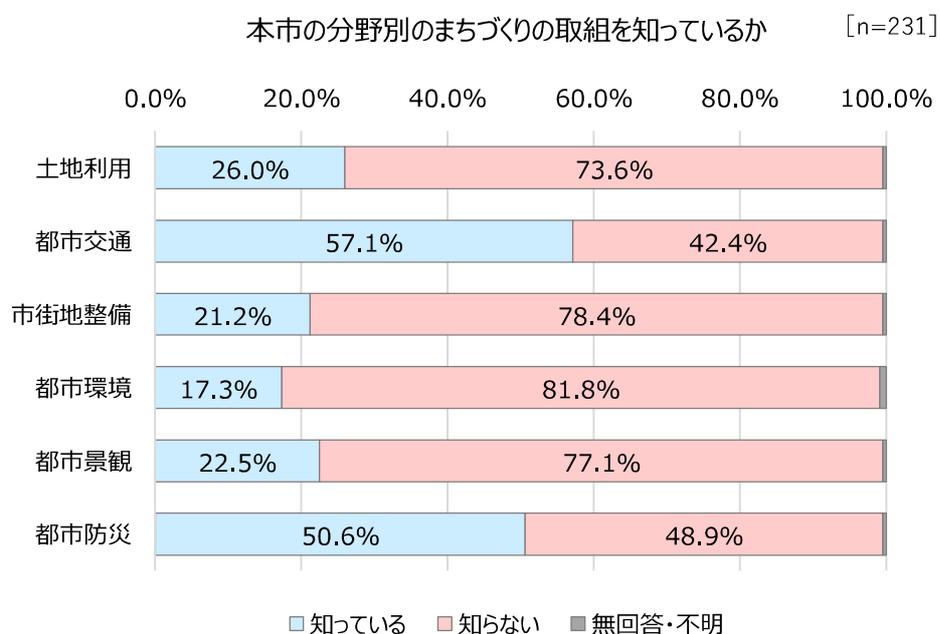
都市計画マスタープランの周知に有効な方法については、「市の広報誌に掲載」が 56.7%と最も多く、次いで「動画配信や SNS」が 47.6%を占めている。

[n=231]



③ 尼崎市の分野別のまちづくりの取組を知っているか [単一回答]

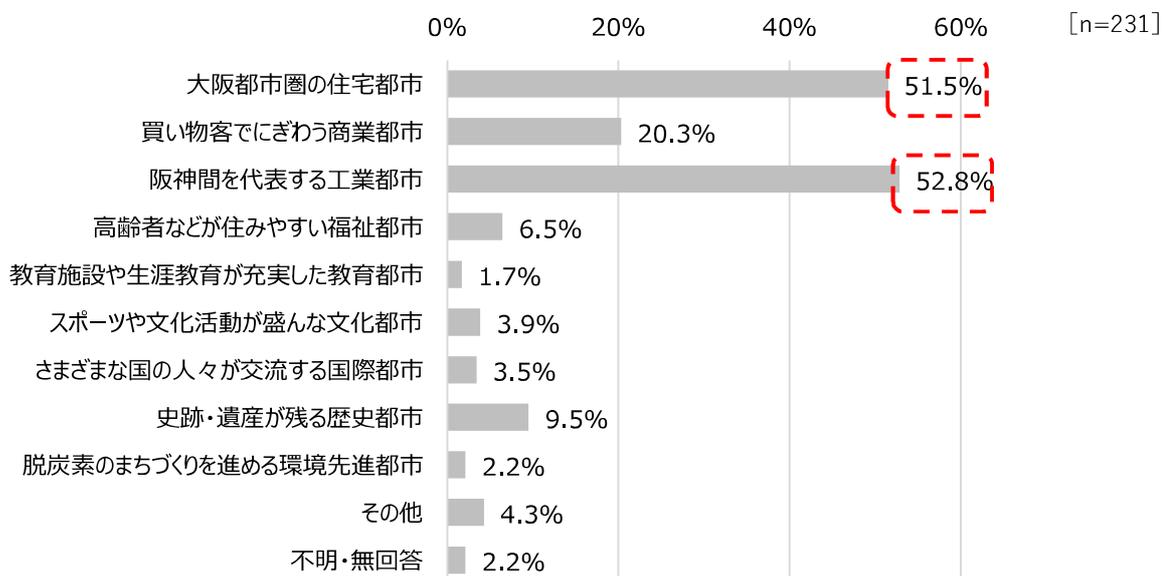
尼崎市の分野別のまちづくりの取組について、知っている割合が高かったのは【都市交通】と【都市防災】の分野で「知っている」がそれぞれ 57.1%、50.6%であった。一方、【土地利用】、【市街地整備】、【都市環境】、【都市景観】の分野については、いずれも「知らない」が7割を超えている。



分野	代表的な取組内容
土地利用	【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していること
都市交通	【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティサイクルを整備していること
市街地整備	【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていること
都市環境	【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していること
都市景観	【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャーミング賞」として表彰していること
都市防災	【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していること

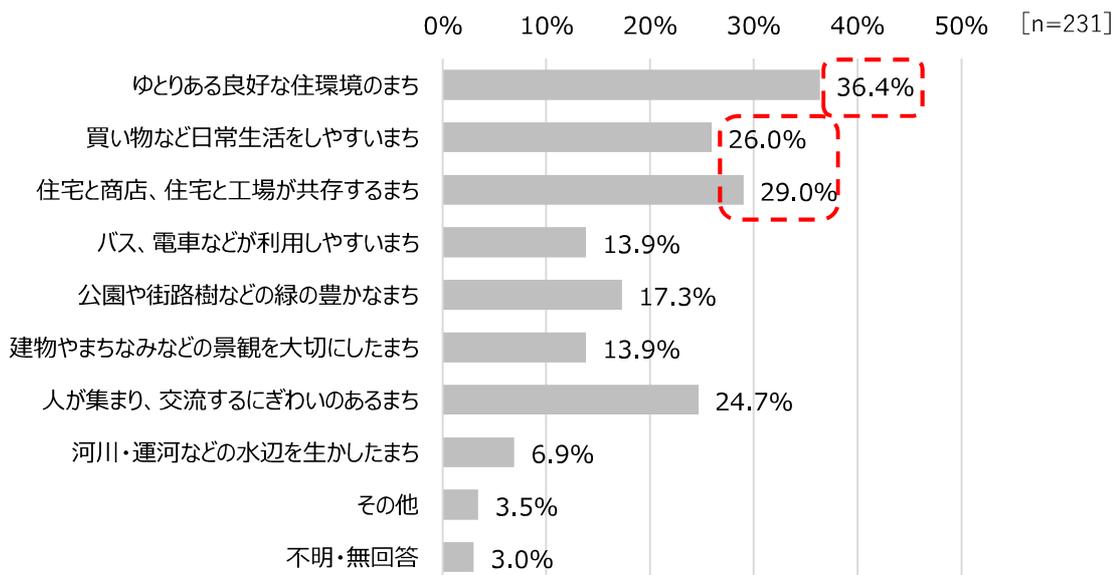
④ 尼崎市の現在のイメージ [複数回答]

尼崎市の現在のイメージについては、「阪神間を代表する工業都市」が52.8%と最も多く、次いで「大阪都市圏の住宅都市」が51.5%を占めている。



⑤ 尼崎市がどのようなまちになってほしいか [複数回答]

尼崎市がどのようなまちになってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」が36.4%と最も多く、次いで「住宅と商店、住宅と工場が共存するまち」29.0%、「買い物など日常生活をしやすいまち」26.0%の順となっている。



⑦ 現状の尼崎市の満足度 [単一回答]

現状の尼崎市の満足度について評点見ると、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」(0.83 ポイント)、「①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」(0.75 ポイント)といった、住みやすさに関する項目の満足度が比較的高い。逆に、「⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある」(-0.34 ポイント)や「⑩緑豊かで憩いくつろげる場所がある」(-0.17 ポイント)など、ゆとり・うるおいに関する項目での満足度が低い結果となっている。

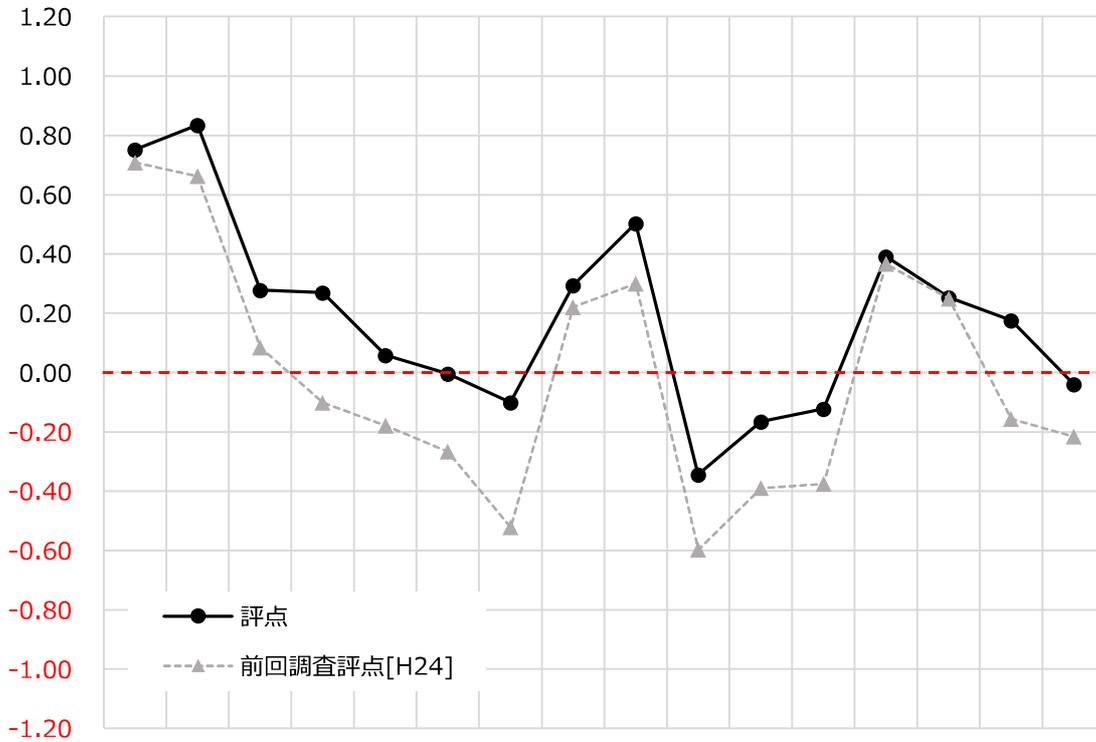
項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答・不明	合計 (件数)	評点	前回調査 評点 [H24]	
	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)				
住みやすさ	① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	60	89	46	20	10	6	231	0.75	0.71
	② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	58	103	46	16	6	2	231	0.83	0.66
	③ 日頃利用する公園の使いやすさ	26	61	104	22	14	4	231	0.28	0.08
安全性	④ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	26	66	92	29	14	4	231	0.27	-0.10
	⑤ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ	14	65	82	50	15	5	231	0.06	-0.18
	⑥ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	12	64	81	53	18	3	231	-0.00	-0.27
交通	⑦ 道路が整備され自転車が走りやすい	11	54	84	59	20	3	231	-0.10	-0.52
	⑧ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	20	82	80	37	9	3	231	0.29	0.22
	⑨ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	34	94	66	23	12	2	231	0.50	0.30
ゆとり・うるおい	⑩ 美しい建築物や道路による良好な景観がある	4	34	98	65	28	2	231	-0.34	-0.60
	⑩ 緑豊かで憩いくつろげる場所がある	8	45	99	55	22	2	231	-0.17	-0.39
	⑩ 河川・水路などの水に親しめる場所がある	13	48	95	42	30	3	231	-0.12	-0.38
最寄りの駅について	⑬ バスやタクシーの乗場などが整備されている	28	88	67	35	10	3	231	0.39	0.37
	⑭ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	29	72	73	38	17	2	231	0.25	0.25
	⑮ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	23	63	89	37	16	3	231	0.18	-0.16
	⑯ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	20	48	82	59	19	3	231	-0.04	-0.22

[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。

【現在の尼崎市の満足度-評点】

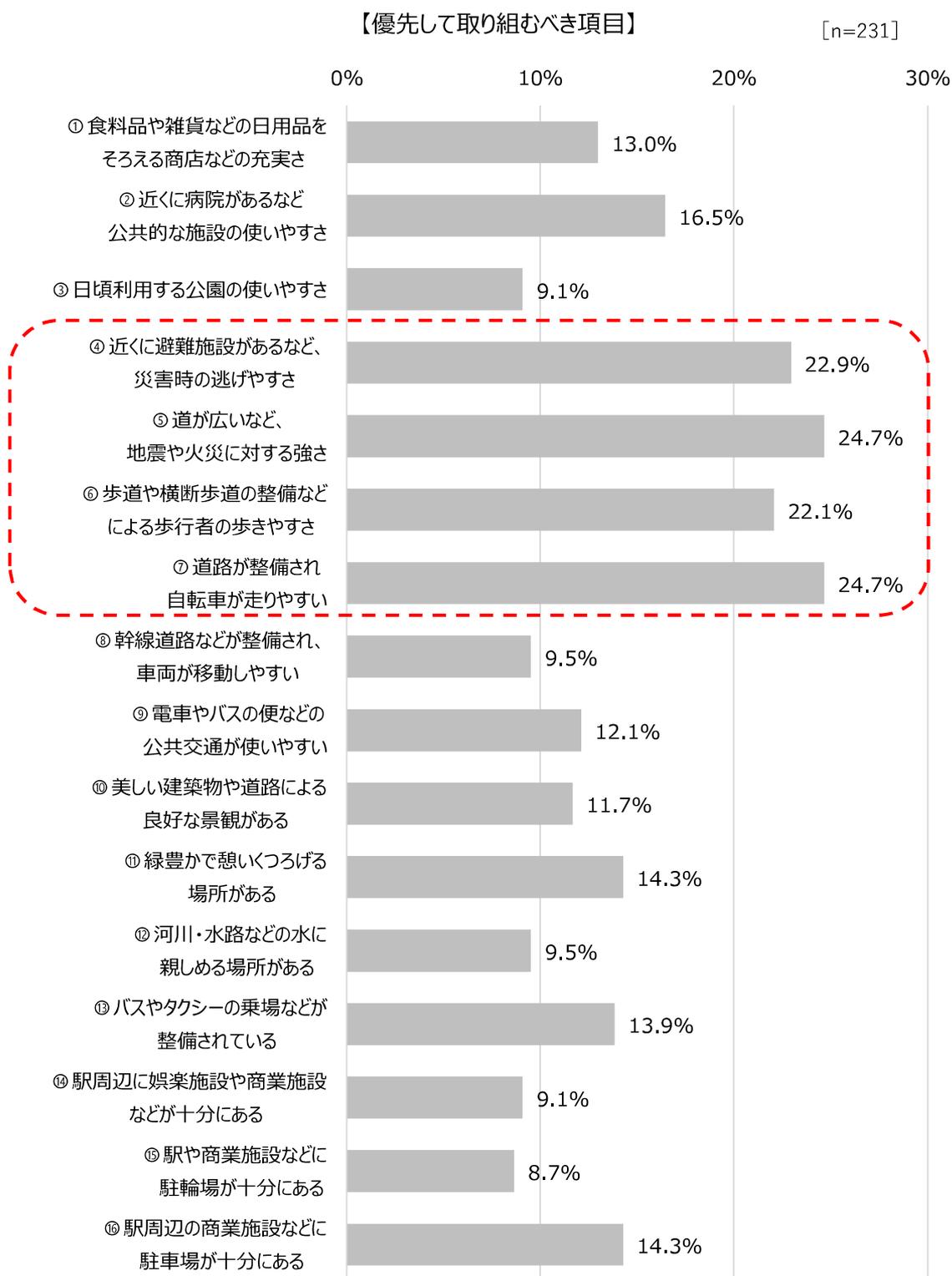
[n=231]



- ① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ
- ② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ
- ③ 日頃利用する公園の使いやすさ
- ④ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ
- ⑤ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ
- ⑥ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ
- ⑦ 道路が整備され自転車が走りやすい
- ⑧ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい
- ⑨ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい
- ⑩ 美しい建築物や道路による良好な景観がある
- ⑪ 緑豊かで憩いくつろげる場所がある
- ⑫ 河川・水路などの水に親しめる場所がある
- ⑬ バスやタクシーの乗場などが整備されている
- ⑭ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある
- ⑮ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある
- ⑯ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある

⑧ 今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目 [複数回答]

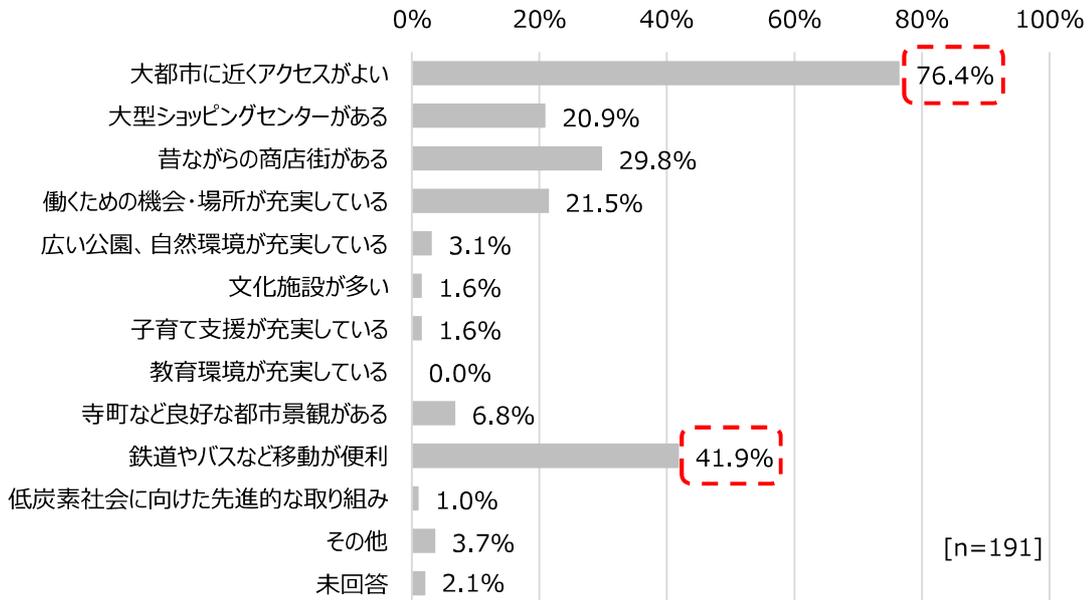
今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目については、「⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ」、「⑦道路が整備され自転車が走りやすい」が24.7%と最も多く、次いで「④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ」が22.9%、「⑥歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ」が22.1%、と安全性に関する項目の割合が比較的多くなっている。



(3) 市外からの通勤者向けアンケート

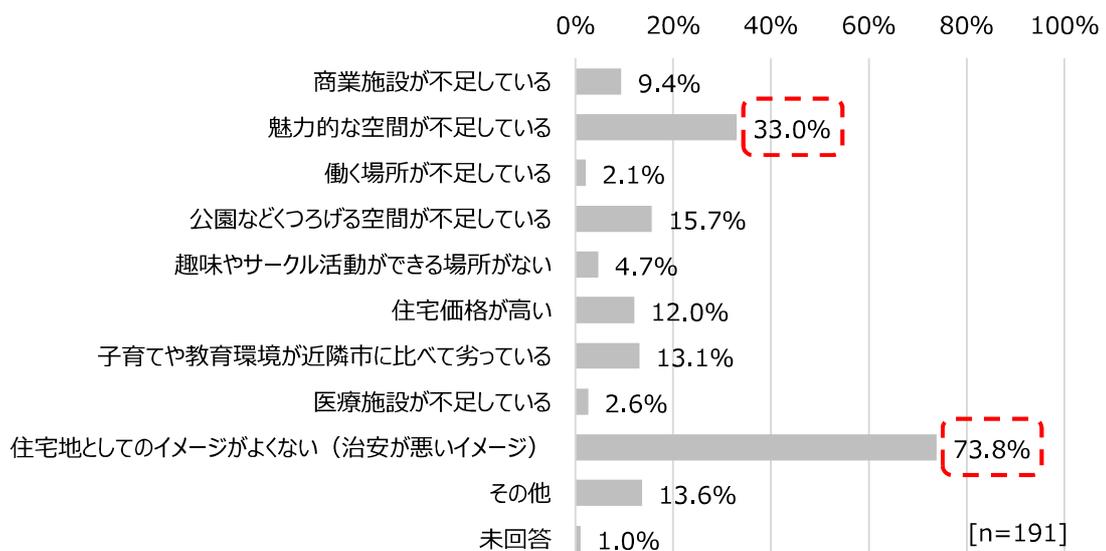
① 尼崎市のまちの魅力は何だと思いますか[複数回答]

尼崎市のまちの魅力について、「大都市に近くアクセスがよい」が76.4%で最も多く、次いで「鉄道やバスなど移動が便利」が41.9%で2番目になっている。



② 尼崎市のまちの課題は何だと思いますか[複数回答]

尼崎市のまちの課題について、「住宅地としてのイメージがよくない(治安が悪いイメージ)」が73.8%で最も多く、次いで「魅力的な空間が不足している」が33.0%で2番目に多い。



③ 尼崎市のまちづくりに関する満足度

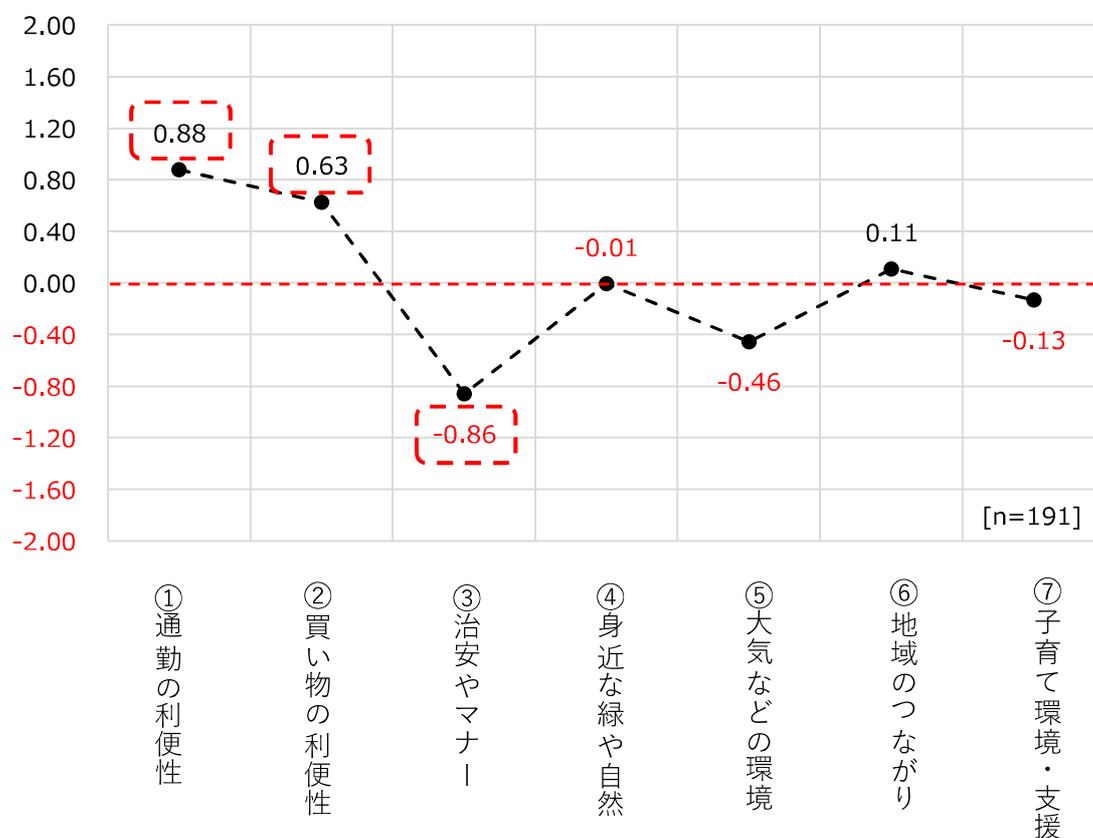
尼崎市のまちづくりに関する満足度の評点を見ると、「①通勤の利便性」が0.88ポイントで最も評点が高く、次いで「②買い物の利便性」が0.63ポイントで2番目に評点が高くなっている。一方で、「③治安やマナー」が-0.86ポイントで最も低くなっている。

	①通勤の利便性	②買い物の利便性	③治安やマナー	④身近な緑や自然	⑤大気などの環境	⑥地域のつながり	⑦子育て環境・支援
満足	66	37	2	6	7	4	1
やや満足	68	60	14	45	12	26	8
どちらでもない	30	82	39	90	81	149	154
やや不満	22	10	90	42	69	11	21
不満	5	2	46	8	22	1	7
合計	191	191	191	191	191	191	191
評点	0.88	0.63	-0.86	-0.01	-0.46	0.11	-0.13

[評点について]

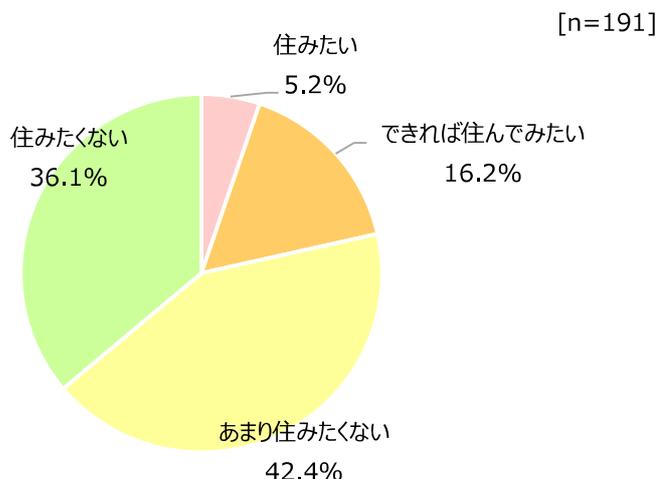
- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。

【尼崎のまちづくりに関する満足度・評点】



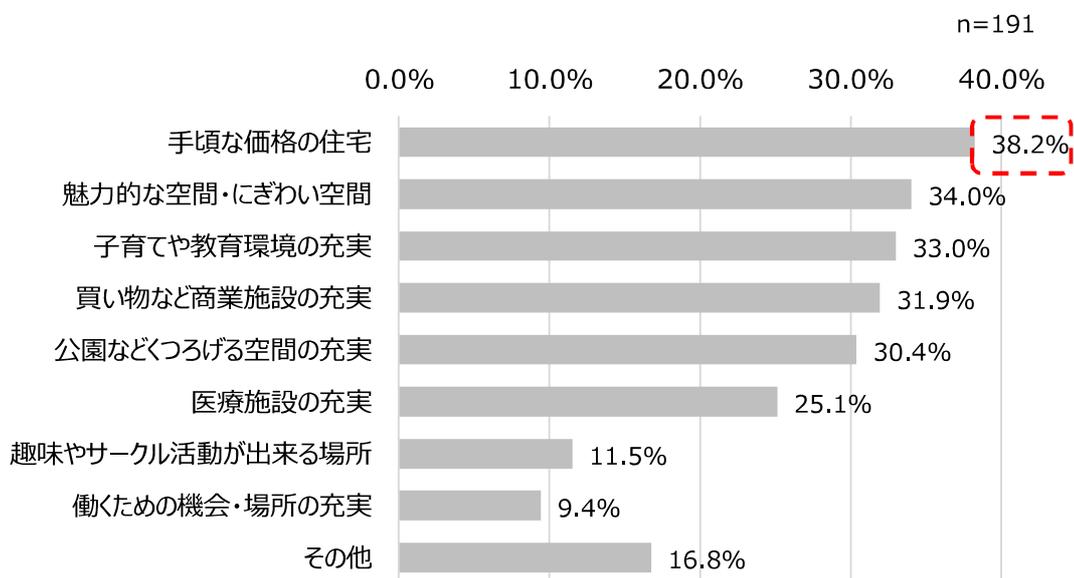
④ 今後、尼崎市での居住意向はありますか[単一回答]

今後の尼崎市での居住意向について、「あまり住みたくない」が42.4%、「住みたくない」が36.1%で、現時点で居住意向のない人が7割を超えている。



⑤ 尼崎市で居住するために必要なものは何ですか

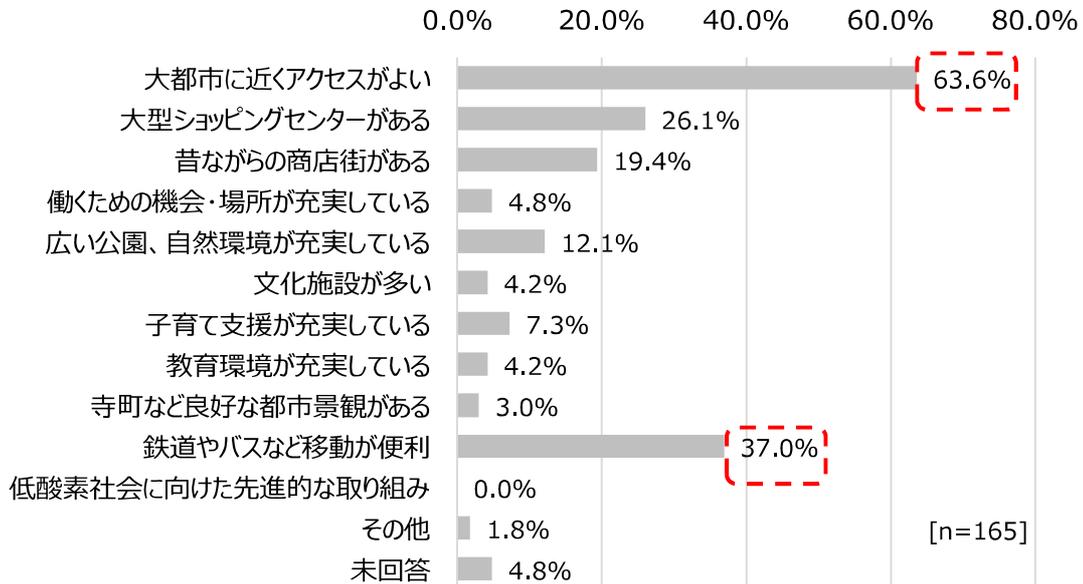
尼崎市で居住するために必要なものは、「手頃な価格の住宅」が38.2%で最も多く、次いで「魅力的な空間・にぎわい空間」が34.0%、「子育てや教育環境の充実」が33.0%の順で多くなっている。



(4) 大学生向けアンケート

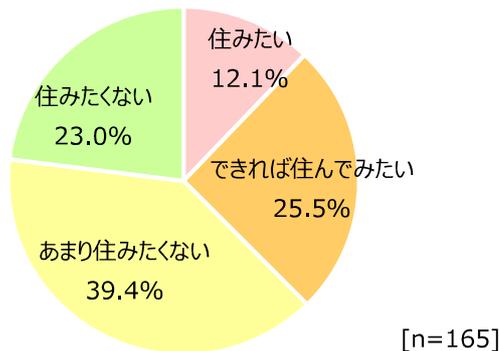
① 尼崎市のまちの魅力は何だと思いますか[複数回答]

尼崎市のまちの魅力について、「大都市に近くアクセスがよい」が63.6%で最も多く、次いで「鉄道やバスなど移動が便利」が37.0%で2番目に多くなっている。



② 今後、尼崎市での居留意向はありますか[単一回答]

今後の尼崎市での居住以降について、「あまり住みたくない」が39.4%、「住みたくない」が23.0%で、居留意向のない割合が6割を超えている。



③ 尼崎市のまちづくりに関する満足度

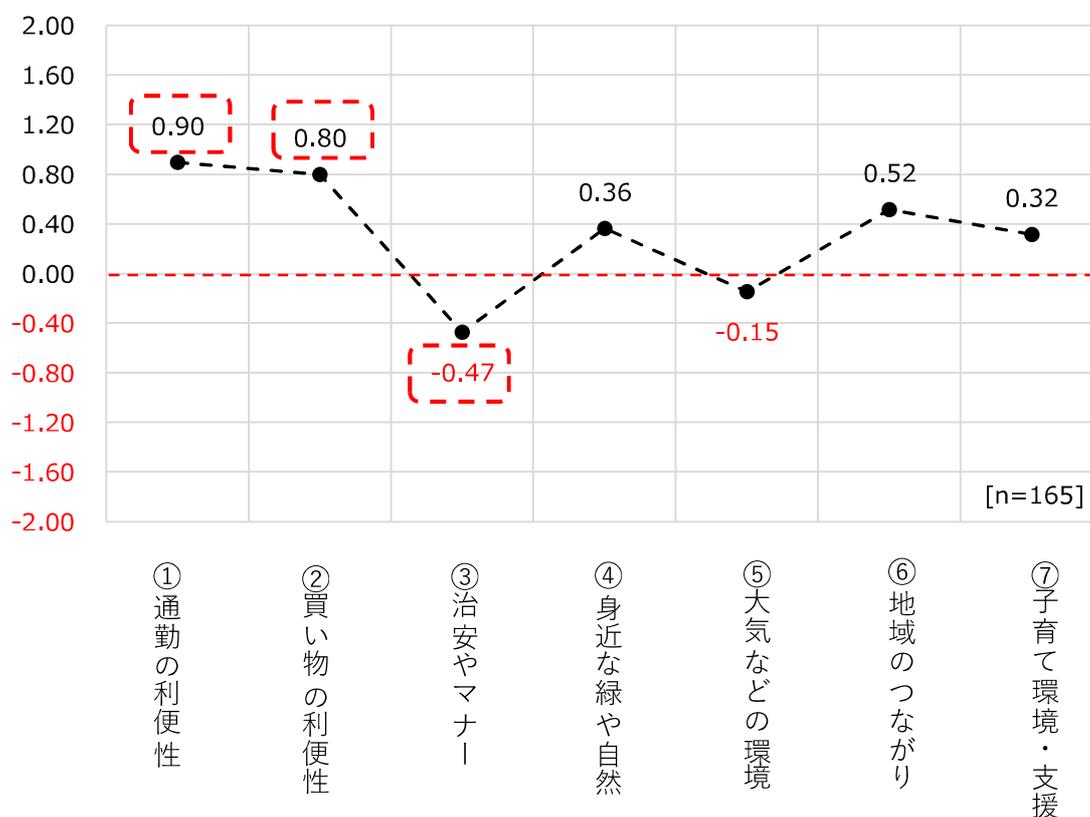
尼崎市のまちづくりに関する満足度の評点を見ると、「①通勤の利便性」が0.90ポイントで最も評点が高く、次いで「②買い物の利便性」が0.80ポイントで2番目に評点が高くなっている。一方で、「③治安やマナー」が-0.47ポイントで最も低くなっている。

	①通学の利便性	②買い物の利便性	③治安やマナー	④身近な緑や自然	⑤大気などの環境	⑥地域のつながり	⑦子育て環境・支援
満足	54	48	9	19	7	26	17
やや満足	66	50	21	51	27	42	30
どちらでもない	25	37	41	59	67	62	59
やや不満	12	6	51	15	33	5	6
不満	7	4	33	7	16	2	3
無回答	1	20	10	14	15	28	50
合計	165	165	165	165	165	165	165
評点	0.90	0.80	-0.47	0.36	-0.15	0.52	0.32

[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。

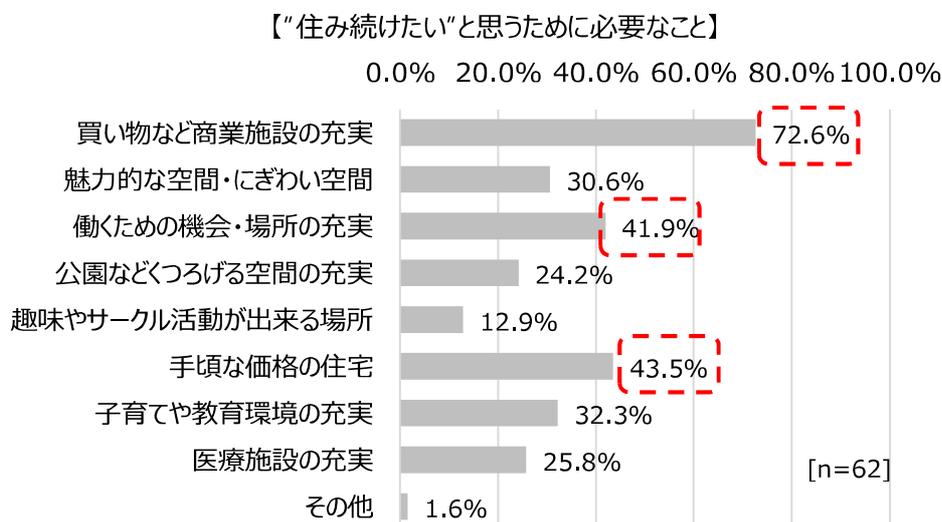
【まちづくりに関する満足度】



④-1 将来尼崎市で“住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは何ですか[複数回答]

※ 居住意向がある方（62名）を対象とした設問

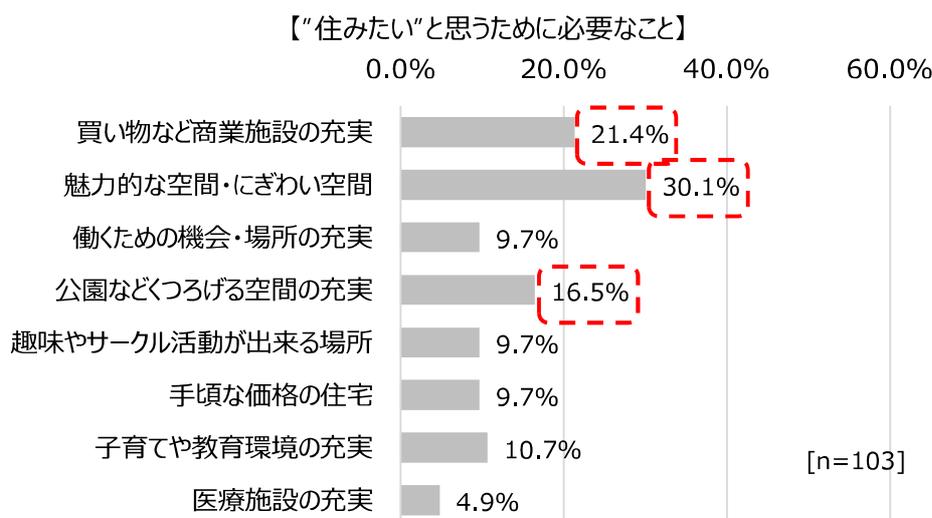
将来尼崎市で“住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは、「買い物など商業施設の充実」が72.6%で最も多く、次いで「手頃な価格の住宅」が43.5%、「働くための機会・場所の充実」が41.9%の順で多くなっている。



④-2 尼崎市で“住みたい”と思うために必要だと考えられるものは何ですか[複数回答]

※ 居住意向がない方（103名）を対象とした設問

尼崎市で“住みたい”と思うために必要だと考えられるものは、「魅力的な空間・にぎわい空間」が30.1%で最も多く、次いで「買い物など商業施設の充実」が21.4%、「公園などくつろげる空間の充実」が16.5%の順で多くなっている。



参考. 調査票・調査項目

(1) 市民アンケート調査 調査票

ご自身やご家族のことについて

問 1. ご自身のことについてお答えください。

■ 居住地 (口の中にご記入ください)

尼崎市 丁目 (記入例: 尼崎市 東七松町 1 丁目)

■ 年齢 (1つに○)

1. 10～20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

■ 職業 (1つに○)

1. フルタイム勤務 2. パート・アルバイト 3. 自営業・自由業
 4. 学生 5. 家事専業 6. 無職 (求職中も含む)
 7. その他 () **■ お住まいの最寄り駅へ**

■ 通勤・通学先 (1つに○)

1. 通勤・通学している 場所 → 1. 尼崎市 2. 大阪市 3. 神戸市
 2. 通勤・通学していない 4. 西宮市 5. 伊丹市 6. その他 ()

■ お住まいの最寄り駅 (口の中にご記入ください)

駅 (記入例: JR立花 駅)

■ 最寄り駅までの移動手段 (主なもの1つに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 車 4. バス 5. その他 ()

■ 最寄り駅までの所要時間 (1つに○)

1. 徒歩 5分未満 2. 徒歩 5分～10分未満 3. 徒歩 10分～20分未満 4. 徒歩 20分以上

■ 現在の家の所有状況 (1つに○)

1. 一戸建て (持ち家) 2. 一戸建て (賃貸) 3. 長屋建て (持ち家) 4. 長屋建て (賃貸)
 5. 分譲マンション 6. 民間の賃貸マンション 7. UR・会社の賃貸住宅 8. 公営住宅
 9. 官舎・社宅・寮 10. その他 () (県営・市営住宅)

■ 現在の家での居住年数 (1つに○)

1. 5年未満 2. 5年～9年 3. 10年～19年 4. 20年～29年 5. 30年以上

■ 今後の居住意向 (1つに○)

1. 住み続けたい (満足している) 2. 住み続けたい (不満はある)
 3. 引越したい (市内) 4. 引越したい (市外) 5. その他 ()

■ 一緒に住んでいる家族の構成 (1つに○)

1. 単身 (一人暮らし) 2. 夫婦と子供 3. 三世同居
 4. 夫婦ふたり 5. ひとり親と子供 6. その他 ()

1

(市民アンケート調査票続き)

問 5. お住まいの地域についての現状の満足度と、今後まちづくりについて市が優先して取り組むべき項目についてお答えください。(満足度は各項目1つに○)

項 目	満 足	やや 満足	ど うも 満足 しない	やや 不 満	不 満	優先すべき 項目 5つに○
※ 記入例 下水道が整備されている	1	②	3	4	5	
《住みやすさ》						
①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	1	2	3	4	5	
②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	1	2	3	4	5	
③日頃利用する公園の使いやすさ	1	2	3	4	5	
④日当たりなどの生活環境の良さ	1	2	3	4	5	
⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	1	2	3	4	5	
《安全性》						
⑥近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	1	2	3	4	5	
⑦道が広いなど、地震や火災に対する強さ	1	2	3	4	5	
⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	1	2	3	4	5	
《交通》						
⑨道路が整備され自転車が走りやすい	1	2	3	4	5	
⑩幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	1	2	3	4	5	
⑪電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	1	2	3	4	5	
《ゆとり・うるおい》						
⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある	1	2	3	4	5	
⑬緑豊かで憩いつづける場所がある	1	2	3	4	5	
⑭河川、水路などの水に親しめる場所がある	1	2	3	4	5	
《最寄りの駅について》						
⑮バスやタクシーの乗場などが整備されている	1	2	3	4	5	
⑯駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	1	2	3	4	5	
⑰駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	1	2	3	4	5	
⑱駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	1	2	3	4	5	

問 6. 現在の本市に、全体としてどのような都市イメージを持っておられますか。(2つまで選択可)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 大阪都市圏の住宅都市 | 6. スポーツや文化活動が盛んな文化都市 |
| 2. 買物客でにぎわう商業都市 | 7. さまざまな国の人々が交流する国際都市 |
| 3. 阪神間を代表する工業都市 | 8. 史跡、遺産が残る歴史都市 |
| 4. 高齢者などが住みやすい福祉都市 | 9. 脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市 |
| 5. 教育施設や生涯教育が充実した教育都市 | 10. その他 () |

問 7. 将来の本市が全体としてどのような都市になっていけば良いと思われませんか。(2つまで選択可)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ゆとりのある良好な住環境のまち | 6. 建物やまちなみなどの景観を大切にしまち |
| 2. 買い物など日常生活をしやすいまち | 7. 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち |
| 3. 住宅と商店、住宅と工場とが共存するまち | 8. 河川、運河などの水辺を生かしたまち |
| 4. バス、電車などが利用しやすいまち | 9. その他 () |
| 5. 公園や街路樹などの緑の豊かなまち | |

問 8. 日常生活の中で利用する施設の場所と利用頻度、主な移動手段をお答えください。(1つに○)

※ 通勤・通学していない方は、勤務先・学校の項目は回答せず、商業施設から回答してください。

施設の種類	場所		その外出頻度					その主な移動手段									
	尼崎市内の方が 多い	尼崎市外の方が 多い	1週間に5回以上	1週間に数回程度	1か月に数回程度	年に数回程度	全く利用しない	徒歩のみ	自転車	バイク (原付含む)	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族等が運転)	タクシー	路線バス	鉄道	その他	
例：施設	①	2	1	②	3	4	5	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	
勤務先・学校	X	X	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小規模な商業施設 【スーパー、コンビニ等】	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
大規模な商業施設 【ショッピングモール等】	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
飲食店	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
病院・診療所	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

問 9. お住まいの地域にどのような災害リスクがあるかを知っていますか。(1つに○)

1. ハザードマップ等を確認し、住んでいる地域の災害時の危険性を把握している。
2. ハザードマップ等があることは知っているが、災害時の危険性は把握していない。
3. ハザードマップ等があることを知らない。▶ハザードマップ等は市ホームページからも閲覧できます(チラシ参照)

問 10. 防災・減災のまちづくりとして必要と思う取組はありますか。

(特に重要と考えるものを2つまで選択)

1. 建物の耐震化、建替えなどの地震の備えを進める
2. 河川の治水、臨海部の浸水対策などの水害対策を進める
3. 災害時の避難地、避難路、物資の輸送路を確保する
4. 地域での防災訓練や防災マップづくりなど、自助・共助の取組を進める
5. 被災した場合に速やかに復旧できるよう、復興の事前準備を進める
6. 浸水被害が大きいなど、危険な地域は、住宅建設などの開発を抑制する
7. その他 ()

地域のまちづくりについて

尼崎市では次に示すような様々な地域のまちづくりが行われています。

地域のまちづくりの取組内容を踏まえて、問 11 以降(次ページ)の設問にお答えください。



杭瀬公園マルシェイベント



阪神出屋敷駅のペインティングイベント



阪急塚口駅の社会実験



花壇の植替え



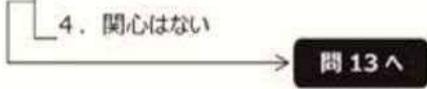
クリーン運動



まちづくりワークショップ

問 11. 地域のまちづくりに関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 関心があり、参加できる機会があれば積極的に参加したい | 3. 関心はあまりないが、情報提供は必要 |
| 2. 関心があり、時間があれば参加したい | 4. 関心はない |



問 12. 地域のまちづくりにどのように参加したいですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. まちづくりの将来像やビジョンなど新たな方向性の議論への参加 (ワークショップ等) | 4. 市が実施するアンケート、意見募集への協力 |
| 2. まちのにぎわい、活性化につながる地域で行われるイベントへの参加 | 5. インターネットやSNSを活用した情報(まちづくりの活動やまちの魅力等)の発信 |
| 3. 身近な地域の環境美化活動や、緑化活動への参加 | 6. その他 () |

問 13. 多くの市民に地域のまちづくりに参加していただくために、行政が市民や地域に対して重点的に行っていくべき取組は何だと思えますか。(2つまで選択可)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 地域の情報 (人口、歴史、法律の制限、基盤整備の状況など) の提供 | 5. 地域のまちづくりのリーダーを養成する仕組みづくり |
| 2. まちづくりを話し合うための機会や場所の提供 | 6. まちづくりに有効な方策などの解説書の提供 |
| 3. まちづくりの活動への財政的支援 | 7. 各地域で行われているまちづくりの情報提供 |
| 4. まちづくりのアドバイスをを行う行政窓口の設置やまちづくり専門家の派遣 | 8. 先進的なまちづくりの取組事例などの情報提供 |
| | 9. その他 () |

その他 まちづくりについてご意見、ご要望等がございましたら、ご記載願います。(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 事業者アンケート調査 調査票

貴事業所の状況について

問 1. 貴事業所の状況についてお答えください。

■ 貴事業所の所在地(口の中にご記入ください。)

尼崎市 丁目 (記入例: 尼崎市 東七松町 1 丁目)

■ 事業の業種(主なもの1つに○)

- | | | | |
|--------------------|------------------------|------------------|------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 4. 製造業 |
| 5. 情報通信業 | 6. 運輸業、郵便業 | 7. 不動産業、物品賃貸業 | 8. 卸売業、小売業 |
| 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | 10. 宿泊業、飲食サービス業 | 11. 教育、学習支援業 | |
| 12. 生活関連サービス業、娯楽業 | 13. 金融業、保険業 | 14. 医療、福祉 | |
| 15. 複合サービス事業 | 16. サービス業 (他に分類されないもの) | 17. その他 () | |

■ 貴事業所の従業員数(1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 4人以下 | 2. 5～9人 | 3. 10～19人 | 4. 20～29人 |
| 5. 30～49人 | 6. 50～99人 | 7. 100人以上 | |

■ 従業員のうち、尼崎市内居住者の割合(1つに○)

- | | | |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. ほぼ全員 (約 10 割) | 2. 大半 (7～9 割) | 3. 5 割前後 (4～6 割) |
| 4. 少し (2～3 割) | 5. ほとんどいない (1 割未満) | 6. わからない |

■ 従業員の主要な通勤手段(主なもの1つに○)

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1. 電車 | 2. 車、バイク | 3. バス |
| 4. 自転車 | 5. 徒歩のみ | |

■ 尼崎市内で開業した年(1つに○)

- | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 昭和 30 年以前 | 2. 昭和 31 年～昭和 50 年 | 3. 昭和 51 年～平成 6 年 |
| 4. 平成 7 年～平成 16 年 | 5. 平成 17 年～平成 26 年 | 6. 平成 27 年以降 |

■ 土地・建物の所有関係(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 土地及び建物ともに所有 | 2. 土地は所有、建物は借家 |
| 3. 土地は借地、建物は所有 | 4. 土地及び建物ともに賃貸 |

■ 貴事業所が立地する用途地域(複数にまたがる場合は、主なもの1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|---------|
| 1. 工業専用地域 | 2. 工業地域 | 3. 準工業地域 | 4. 商業地域 |
| 5. 近隣商業地域 | 6. 住居系の地域 | 7. わからない | |

■ 貴事業所の周りの建物の状況(主なもの1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 工場や倉庫などが主である | 2. 店舗や事務所が主である |
| 3. 住宅が主である | 4. 住宅と工場・倉庫が混在している |

事業活動と尼崎のまちづくりについて

問 2. 尼崎市では平成 26 年にまちづくりの基本的な方針を示す計画(都市計画マスタープラン)を改定し、その計画に基づきまちづくりを進めていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 計画があることを知らなかった (今回はじめて知った)
2. 計画があることは知っているが、見たことはない
3. 計画があることを知っており、見たことがある

問 3. 都市計画マスタープランを広く知っていただき、尼崎市のまちづくりに興味をもっていただくためには、どのような周知方法が効果的だと思いますか。(2つまで選択可)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 市の広報誌に掲載 | 4. 動画配信や SNS |
| 2. 説明会の実施 | 5. 市のイベントを活用 |
| 3. 小学校等で講座を開催 | 6. その他 () |

問 4. 尼崎市が取り組んでいる分野別の主なまちづくりの取組をご存じですか。

分野	代表的な取組内容	選択肢
土地利用	 <p>【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市交通	 <p>【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
市街地整備	 <p>【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市環境	 <p>【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市景観	 <p>【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャレンジ賞」として表彰していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市防災	 <p>【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない

(事業者アンケート調査票続き)

問 5. 貴事業所のある地域についての現状の満足度と、今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目についてお答えください。(満足度は各項目1つに○)

項 目	満 足	や や 満 足	ま ま な ら ず	や や 不 満	不 満	優先すべき 項目 5つに○
※ 記入例 下水道が整備されている	1	②	3	4	5	
《働きやすさ》						
①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	1	2	3	4	5	
②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	1	2	3	4	5	
③日頃利用する公園の使いやすさ	1	2	3	4	5	
《安全性》						
④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	1	2	3	4	5	
⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ	1	2	3	4	5	
⑥歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	1	2	3	4	5	
《交通》						
⑦道路が整備され自転車が走りやすい	1	2	3	4	5	
⑧幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	1	2	3	4	5	
⑨電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	1	2	3	4	5	
《ゆとり・うるおい》						
⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある	1	2	3	4	5	
⑪緑豊かで憩い・つろげる場所がある	1	2	3	4	5	
⑫河川、水路などの水に親しめる場所がある	1	2	3	4	5	
《最寄りの駅について》						
⑬バスやタクシーの乗場などが整備されている	1	2	3	4	5	
⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	1	2	3	4	5	
⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	1	2	3	4	5	
⑯駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	1	2	3	4	5	

問 6. 現在の尼崎市に、全体としてどのような都市イメージを持っておられますか。(2つまで選択可)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 大阪都市圏の住宅都市 | 6. スポーツや文化活動が盛んな文化都市 |
| 2. 買物客でにぎわう商業都市 | 7. さまざまな国の人々が交流する国際都市 |
| 3. 阪神間を代表する工業都市 | 8. 史跡、遺産が残る歴史都市 |
| 4. 高齢者などが住みやすい福祉都市 | 9. 脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市 |
| 5. 教育施設や生涯教育が充実した教育都市 | 10. その他 () |

問 7. 将来の尼崎市が全体としてどのような都市になっていければ良いと思われませんか。(2つまで選択可)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ゆとりのある良好な住環境のまち | 6. 建物やまちなみなどの景観を大切にしまち |
| 2. 買い物など日常生活をしやすいまち | 7. 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち |
| 3. 住宅と商店、住宅と工場とが共存するまち | 8. 河川、運河などの水辺を生かしたまち |
| 4. バス、電車などが利用しやすいまち | 9. その他 () |
| 5. 公園や街路樹などの緑の豊かなまち | |

問 8. 貴事業所のある地域にどのような災害リスクがあるかを知っていますか。(1つに○)

1. ハザードマップ等を確認し、貴事業所のある地域の災害時の危険性を把握している。
2. ハザードマップ等があることは知っているが、災害時の危険性は把握していない。
3. ハザードマップ等があることを知らない。▶ハザードマップ等は市ホームページからも閲覧できます(チラシ参照)

問 9. 防災・減災のまちづくりとして必要と思う取組はありますか。

(特に重要と考えるものを2つまで選択)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 建物の耐震化、建替えなどの地震の備えを進める | 5. 被災した場合に速やかに復旧できるよう、復興の事前準備を進める |
| 2. 河川の治水、臨海部の浸水対策などの水害対策を進める | 6. 浸水被害が大きいなど、危険な地域については、住宅建設などの開発を抑制する |
| 3. 災害時の避難地、避難路、物資の輸送路を確保する | 7. その他 () |
| 4. 地域での防災訓練や防災マップづくりなど、自助・共助の取組を進める | |

問 10. 現在の所在地で、事業を営むに当たって問題と感じているところはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 周りが住宅地になり、事業がしづらくなっている | 7. 周りの人口が減少し、客の数が少なくなっている |
| 2. 周りに建物が密集しており、思うように事業を拡大できない | 8. 空き店舗、倉庫などが増加し、商業地として魅力がなくなっている |
| 3. 法令の規制で、思うように事業ができない | 9. 大型店舗の出店(撤退)により、人の流れや客層などが大きく変化している |
| 4. 幹線道路の渋滞や道路の幅が狭いなど、交通上の不便を感じる | 10. コンビニ、飲食店などの利便施設が近くにないので不便を感じる |
| 5. マイカーや自転車、歩行者が多く、周りの道路が使いづらい | 11. 事業を営む上で、特に問題は感じていない |
| 6. 従業員用や来客用など駐車スペースが不足している | 12. その他 () |

問 11.人口減少や少子高齢化、流通システムの革新や DX の推進など、様々な要因により産業構造が変化しつつありますが、今後の事業についてどのようにお考えですか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 事業規模・敷地規模を拡大したい | 5. 事業内容を変更・事業分野の拡大をしたい |
| 2. 事業規模・敷地規模を縮小していきたい | 6. 新たな技術を積極的に取り入れていきたい |
| 3. 近い将来事業をやめたい | 7. 今後も今と同じように事業を継続したい |
| 4. 利便性や安全性が高い場所などに移転したい | 8. その他 () |

移転希望場所(1つに○)

1. 市内
2. 市外

【希望している理由】

問 12.地球温暖化や災害の激甚化が進んでおり、脱炭素・持続可能な社会づくりに向けて、民間企業にも地球環境に配慮した取組が求められています。現在すでに取り組んでいるもの又は今後取り組むことができそうなものはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電等) | 4. 省エネ型建物や設備への更新 |
| 2. プラスチックリサイクル等の資源循環 | 5. 環境にやさしい通勤手段に移行 (自転車や公共交通機関を利用) |
| 3. 食品・廃材等バイオマスの利用 | 6. その他 () |

問 13. 貴事業所は、まちづくりへの協力や貢献について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------|
| 1. 既に協力・貢献している | 4. あまり協力・貢献したくない | |
| 2. 積極的に協力・貢献したい | | 5. 協力・貢献したくない |
| 3. 状況によっては協力・貢献したい | | |

問 15 へ

問 14. 貴事業所は、まちづくりに向けてどのような協力が考えられますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 事業所敷地内に花を植えたり、緑化する等、街の憩いの創出に貢献する | 6. 商品名や会社名で尼崎市をPRする |
| 2. 事業所やその周辺の美化を行う | 7. 地域のイベントに積極的に参加する |
| 3. 建物の高さや色を周辺と調和したものにする | 8. 地域のイベントに金銭的な支援をする |
| 4. 交通渋滞を緩和するために時差出勤を行う | 9. 施設見学など、事業所を観光に利用する |
| 5. 交通渋滞緩和や温室効果ガス排出削減のため、通勤に公共交通や自転車を利用する | 10. 小中学生の職場体験など教育活動に協力する |
| | 11. その他 () |

問 15. 尼崎を居住地として選んでいただけるようなまちづくりを進めていくために、市外から通勤される従業員の方々を対象としたアンケートにご協力いただけますか。

ご協力いただける場合は、QRコード又はURLが記載された用紙を、対象となる従業員の方々に配布していただき、webから回答していただく予定です。

1. 協力できる

2. 協力できない



貴事業所の所在地	
貴事業所の名称	
ご担当者の氏名	
電話 / E-mail	

※ 市内にある貴事業所の所在地等をご記入ください。なお、その貴事業所が本社である場合は、その所在地等をご記入ください。

その他 まちづくりについてご意見、ご要望等がございましたら、ご記載願います。(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) 市外からの通勤者向けアンケート調査項目

【回答者の属性】

- 通勤場所（記述式）：尼崎市 ○○町 ○○丁目
- 勤務先の業種：商業系／工業系／その他
- 居住地（選択肢）：伊丹市／西宮市／神戸市／大阪市／豊中市／その他
- 居住地が実家かどうか：実家である／実家ではない
- 年齢：～20歳代／30歳代／40歳代／50歳代／60歳代以上
- 家族構成：一人暮らし／夫婦のみ／夫婦と子ども／三世同居／ひとり親と子供／その他
- 勤続年数：3年未満／3～5年未満／5～10年未満／10～20年未満／20年以上
- 尼崎市までの交通手段：鉄道／路線バス／原付・自動二輪／自転車／自家用車／その他

【市外在住者から見た尼崎のまちの課題・魅力】

問1. 尼崎市内でよく訪れる場所

- ・ JR 尼崎駅周辺／JR 立花駅周辺／JR 塚口駅周辺／阪急塚口駅周辺／阪急武庫之荘駅周辺
／阪神尼崎駅周辺／その他

問2. 尼崎市の魅力

- ・ 大都市に近くアクセスがよい／大型ショッピングセンターがある
／昔ながらの商店街がある／働くための機会・場所在充実している
／広い公園、自然環境が充実している／文化施設が多い／子育て支援が充実している
／教育環境が充実している／寺町など良好な都市景観がある
／鉄道やバスなど移動が便利／低炭素社会に向けた先進的な取り組み／その他

問3. 尼崎市のまちの課題

- ・ 商業施設が不足している／魅力的な空間が不足している／働く場所在不足している
／公園などくつろげる空間が不足している／趣味やサークル活動ができる場所がない
／住宅価格が高い／子育てや教育環境が近隣市に比べて劣っている
／医療施設が不足している／住宅地としてのイメージがよくない（治安が悪いイメージ）
／その他

問4. 尼崎市のまちづくりに関する満足度

- 通勤の利便性／○ 買い物の利便性／○ 治安やマナー／○ 身近な緑や自然
／○ 大気などの環境／○ 地域のつながり／○ 子育て環境・支援（尼崎市総計 転入・転出世帯
アンケートより）

問5. 今後尼崎市での居留意向

- ・ 住みたい／できれば住んでみたい／あまり住みたくない／住みたくない

問6. 尼崎市で居住するために必要なもの

- ・ 買い物など商業施設の充実／魅力的な空間・にぎわい空間／働くための機会・場所在充実
／公園などくつろげる空間の充実／趣味やサークル活動が出来る場所／手頃な価格の住宅
／子育てや教育環境の充実／医療施設の充実／その他

(4) 大学生向けアンケート調査項目

【回答者の属性】

- 通学先：関西国際大学（尼崎キャンパス）／園田学園女子大学／園田学園女子大学短期大学部
／武庫川女子大学／武庫川女子大学短期大学部／産業技術短期大学
- 学年：1年生／2年生／3年生／4年生／その他
- 住まいの場所：尼崎市内（町名）／尼崎市外（都道府県名及び市町村名）
- 居住年数：1年未満／1～4年未満／4年以上
- 出身地：尼崎市／兵庫県内（市町村名）／兵庫県外（都道府県名及び市町村名）／その他
- 居住の形態：一人暮らし／親など親族と同居／友人など非親族と同居／その他
- 通学手段：鉄道／路線バス／原付・自動二輪／自転車／徒歩のみ／自家用車／その他

【若者から見た尼崎のまちの課題・魅力】

問1. 尼崎市内でよく訪れる場所

- ・ JR 尼崎駅周辺／JR 立花駅周辺／JR 塚口駅周辺／阪急塚口駅周辺／阪急園田駅周辺
／阪急武庫之荘駅周辺／阪神尼崎駅周辺／その他

問2. 尼崎市のまちの魅力

- ・ 大都市に近くアクセスがよい／大型ショッピングセンターがある
／昔ながらの商店街がある／働くための機会・場所が充実している
／広い公園、自然環境が充実している／文化施設が多い／子育て支援が充実している
／教育環境が充実している／寺町など良好な都市景観がある／鉄道やバスなど移動が便利
／低炭素社会に向けた先進的な取り組み／その他

問3. 尼崎市のまちづくりに関する満足度

- 通学の利便性／○ 買い物の利便性／○ 治安やマナー／○ 身近な緑や自然
／○ 大気などの環境／○ 地域のつながり／○ 子育て環境・支援

問4. 今後尼崎市での居留意向

- ・ 住みたい／できれば住んでみたい／あまり住みたくない／住みたくない

問5-1. 将来尼崎市で“住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは何ですか

（「住みたい」「できれば住んでみたい」を選択した方）

- ・ 買い物など商業施設の充実／魅力的な空間・にぎわい空間／働くための機会・場所の充実
／公園などくつろげる空間の充実／趣味やサークル活動が出来る場所／手頃な価格の住宅
／子育てや教育環境の充実／医療施設の充実／その他

問5-2. 将来尼崎市で“住みたい”と思うために必要だと考えられるものは何ですか

（「住みたくない」「あまり住みたくない」を選択した方）

- ・ 買い物など商業施設の充実／魅力的な空間・にぎわい空間／働くための機会・場所の充実
／公園などくつろげる空間の充実／趣味やサークル活動が出来る場所／手頃な価格の住宅
／子育てや教育環境の充実／医療施設の充実／その他

第2回都市計画分科会意見概要 要約版

No.	分類	意見等の概要
1	まちづくりの方向性	「つなぐイメージ」の1つ目に「人と人をつなぐ」を入れてはどうか。
2		まちづくりの方向性として「つなぐ」を使っているが、「結ぶ」のほうがいいのではないか。
3		「魅力を伸ばすまちづくり」は、様々な用途がモザイク状につながるなどの特徴がある尼崎の複雑性を表現するにはシンプルすぎないか。
4		カフェや居酒屋、あるいはイベント等で魅力的な空間を作ったとしても、アクセスできないと意味がない。人の動きとにぎわいをつなげる計画が必要である。
5	めざすまちの姿	「稼ぐ」には働くという意味が含まれるため、「働き“稼げる”まち」の表現は適切ではないのではないか。
6		「災害に“不安を覚えない”まち」は「魅力を伸ばすまちづくり」に直結しないのではないか。
7		浸水想定区域を居住誘導区域から外するのは現実的ではなく、うまくつきあっていく必要がある。例えば、某都市では、災害リスクを抱える居住誘導区域については、要安全配慮地域などと指定することで、リスクを認識してもらう取組をしている。このように安全のための情報提供が必要であり、それが「不安を覚えない」ということにつながるものと考えている。
8	都市構造	都市構造の図を見ると南部の臨海地域まで交通網がつながっていないように見える。南部地域で働く人に交通網を「つなぐ」という意思として図に反映すべきではないか。
9	市の強みと弱み	市域の3分の1が海拔0メートル地域であるということを資料3のSWOT分析のW【弱み】の部分に記載すべきではないか。
10		「重点的な取組・施策」の中で、「南北交通軸の強化」とあるが、SWOT分析を見ると交通網に関してはS【強み】にしか記載されていないため、南北の交通網改善の施策につながらないのではないか。
11	その他	ある意味混沌としている尼崎の下町らしさは魅力である。それがマイナスイメージの発信とならないように工夫すべきである。